

第 7.1 章 アニマルウェルフェアの勧告に係る序論

第 7.1.3 条

勧告の科学的根拠

- 1) ウェルフェアは、動物の生活の質-良好な状態に寄与する多くの要素（前条の‘5つの自由’に言及されるものも含む）が含まれる広義な用語である。

理由

修辞上の修正

第 7.1.1 条で提案のあった「動物の良好な状態」に合わせるため。

また、コード委員会の報告書（パリ、2月13日から24日）でも述べられているように「動物の生活の質」という「主観的な言い回しは加盟国が異なる解釈を持つおそれがあり、また OIE 基準に含まれ得ない」ため。

第 7.1.X 条

アニマルウェルフェアを評価するための測定指標の使用のための指導原則

- 1) 世界的に適用される OIE のアニマルウェルフェアの基準では、動物の環境及び管理の特定の条件を規定するよりも、動物にとってよい成果をより強調するものとする。成果は一般的に、第 7.1.2 章で記述されている‘5つの自由’の動物環境を評価することによって測定される。
- 2) 第 7.1.4 条の各原則において、最も適切な基準(又は測定指標)、理想的には動物を基礎とする測定指標が基準に含まれるものとする。どの動物を基礎とする測定指標も、2つ以上の原則に関連することがある。

理由

第 7.1.X 条の表題及び「アニマルウェルフェアと豚生産システム」7.X.4 条と用語の整合性を取るため。

第7部新規章 アニマルウェルフェアと豚生産システム

第7.X.8条

痛みを伴う処置

外科的去勢、断尾、切歯、牙切り、個体標識、鼻輪等の処置は豚に対して行われる。これらの処置は飼養管理を円滑にするため、また市場の要件を満たすため、又はアニマルウェルフェアを守るためにのみ行われるものとする。

これらの処置は痛みを伴う、又は苦痛をもたらす可能性があるため、必要な場合に限って、動物への痛み及び苦痛を最低限にする方法—(たとえば、獣医師の勧告又は監視の下で麻酔又は鎮痛の使用)—で行われるものとする。

当該行為に関連して、アニマルウェルフェアを強化するための選択肢には、国際的に認識されている「3つのR」、代替(たとえば、去勢豚よりもむしろ(去勢等の処置を行っていない)雄豚又は免疫学的去勢豚の使用)、削減(たとえば、必要な場合のみの断尾及び切歯)、改善(たとえば、獣医師の勧告の下での鎮痛又は麻酔)等がある(Bonastre *et al.*, 2016 and Hansson *et al.*, 2011)。

理由

2パラグラフ目の「(たとえば、獣医師の勧告又は監視の下で麻酔又は鎮痛の使用)」は、3パラグラフ目の「改善」部分と重複するとともに、2パラと3パラの関係が曖昧になることから削除を提案する。

第7.X.12条

舎飼(屋外型生産システムを含む)

新たな施設を計画又は既存の施設を改修する場合には、アニマルウェルフェア及び動物衛生に関して設計上の専門的な助言が求められる 考慮されるものとする。

理由

全ての加盟国が、その限定されたキャパシティにより、本条に基づき専門的な助言を求めることが必ずしもできるわけではないため。

第 7. X. 20 条

離乳

離乳は、母豚及び仔豚の双方にとってストレスがかかる時期であり、良好な管理が求められる。離乳にかかる問題は、一般的に仔豚のサイズや生理学的成熟に関するものである。早期の離乳システムは、豚の良好な管理と栄養が必要になる。

子豚は、伝染性疾病の予防を目的とした早期離乳が必要とされない場合には、3週齢又はそれ以上で離乳されるものとする (Hameister et al., 2010; smith et al., 2010; gonyou et al., 1998; Worobec al., 1999; Bara., 2000; Rotto and Swart, 2010; Dee., 1994; Baldry et al., 2015; Dritz et al., 1996; Clark et al., 1994; Fangman and Tubbs, 1997)。

理由

修辞上の修正

参考文献では、3週齢以前の早期離乳は Porcine pleuropneumonia、*Mycoplasma hyopneumoniae*、Influenza A 等の重大な伝染性疾病の予防に有効とされているため。

参考文献：

Bara, M.R. Eradication and control of *Actinobacillus pleuropneumoniae* serovar 1 and 12 using a modified segregated early weaning program. The 16th International Pig Veterinary Society Congress, Melbourne, Australia, 17-20 Sept, 2000. https://www.researchgate.net/publication/274254218_Eradication_and_control_of_Actinobacillus_pleuropneumoniae_serovar_1_and_12_using_a_modified_segregated_early_weaning_program

Rotto, H. and Swart, J. *Actinobacillus pleuropneumoniae* (APP) elimination with injectable Enrofloxacin and early weaning. Proceedings of the 21st IPVS congress, Vancouver, Canada-July 18-21, 2010. <http://agris.fao.org/agris-search/search.do?recordID=ES2010002146>

Dee SA. Apparent prevention of *Mycoplasma hyopneumoniae* infection in growing pigs with a low-cost modified-medicated-early-weaning program. *SHAP*. 1994; 2 (6): 7–12. <https://www.aasv.org/shap/issues/v2n6/v2n6p7.pdf>

Baldry, H., Allerson, M., Diaz, A., Yang, M., Culhane, M., Perez, A. and Torremorell, M. Impact of piglet weight and weaning age on influenza A virus infection and nucleoprotein

antibody levels at weaning. AASV (American Association of Swine Veterinarians) 2015. [https://www.aasv.org/search.php?q=Impact of piglet weight and weaning age on](https://www.aasv.org/search.php?q=Impact%20of%20piglet%20weight%20and%20weaning%20age%20on)

Dritz SS, Chengappa MM, Nelssen JL, Tokach MD, Goodband RD, Nietfeld JC, Staats JJ. Growth and microbial flora of nonmedicated, segregated, early weaned pigs from a commercial swine operation. J Am Vet Med Assoc. 1996; 208(5):711-5.
<http://europepmc.org/abstract/med/8617629>

Clark LK, Hill MA, Kniffen TS, VanAlstein W, Stevenson G, Meyer KB, Wu CC, Scheidt AB, Know K, Albregts S. An evaluation of the components of medicated early weaning. SHAP. 1994; 2(3): 5–11.
<https://www.aasv.org/shap/issues/v2n3/v2n3p5.pdf>

Fangman, T.J. and Tubbs, R.C. Segregated early weaning. Swine Health and Production—September and October, Volume 5, number 5, 1997. <https://www.aasv.org/shap/issues/v5n5/v5n5p195.pdf>